



だんだん便り

2024. 4月27日

No. 70

4月10日入園式 可愛い笑顔の新入園児！



コロナ禍で、教職員や保護者等の関係者だけでの入園式が久しぶりに地域関係者を招いての入園式になった。やはり子供たちの笑顔は周りを明るくしてくれる。今年度は0歳児から4歳児の新入園児48人が入り201名の園児たちが、生活習慣や生活態度を養っていきます。【しんじ幼保園】

時代の進化に対応

三寒四温と言っている間に、いつの間にか春が来た感じがする。特に、コロナ禍が納まり、普通の行事が戻ってきたのが大きい原因だろう。そのおかげで卒業式や入学式やらの地域の行事に呼ばれることが多くなった。当たり前なことだが、忙しい間に春が来たんだと思う...

■4月に入って、東京に出かけることがあったが、東京は外国人でいっぱいだった。どこのショッピング街も公共交通機関も外国人や買い物客で溢れていた。景気が戻ったのかと錯覚するが、国内では賃上げが一斉に行われたが、エネルギー問題と物価高の影響と円安で、国民の賃金は、依然として実質賃金はマイナスである。しかし、円安のおかげで外国人の消費意欲は旺盛であったし、日本人も負けじと消費していたが、東京のすべてが値上がりしたように感じる。ホテルなどは高くなったし、予約が取れにくいほど東京は活況のように思えた...

■松江市においては宿泊税制度導入を検討して、「松江市新たな観光財源検討委員会」を設置して令和5年8月28日に第1回の検討会を実施している。松江市は導入の検討段階であるが、丸山島根県知事からは旅行者以外からも宿泊税をとるのに異論がなされ、隠岐の島の西ノ島町と海士町議会からも松江市の病院施設への通院や出張に対しての課税は目的外で税の趣旨と合致しないと意見書を可決している。松江市と隠岐の島町村との関係は深く、何らかの手立てを考えてほしい。

■2月議会でも話題と問題になった殿町高層マンション建設計画は、以前、都市景観条例を審議可決した議会にも大きな責任があり、議会でも慎重に議論した。伝統美観保存区域(塩見縄手地区、普門院外濠地区、城山内濠地区)では高さ基準が明確になされているが、その他は主要な展望地(松江城、田和山史跡公園、大塚山公園)からの眺望保全のための高さ基準を定めていたために、今回のような申請に対応できなかったのである。日本は法治国家で、憲法や国内法と条例で地方自治を治めていることから、今回の申請を退けることは難しかった。

新年度が始まりました！

3月22日、議会が閉会しました(2月20日～3月22日の32日間)

令和6年度へ向けて上定昭仁市長が市政方針を述べてそれらに關しての政策執行にかかる予算審議等が行われ、今までのコロナ禍対策が落ち着き、エネルギー価格や物価対策、円安に対する経済対策等に注視する新年度へのスタートです。

また、上定市長にとっても、議員にとっても任期最終年となる年度の政策等にかかる審議です。令和4年3月に松江市総合計画「まっえドリーム 2030」を策定し積極的に市政を進めていますが、昨年12月には日本経済新聞社と日経BP社が「共働き子育てしやすい街ランキング」で、中国地方で首位、中国・四国地方では松山市に次いで第2位にランクしました。人口減少社会の中にあって、積極姿勢が評価されています。本議会では予算案件25件、条例案件38件、承認案件1件、一般案件18件、同意案件3件など84件を審議し、全会可決及び賛成多数で可決いたしました。

6年度 総予算は約1,064億1,500万円

令和6年度収入予算内訳

市税284.3億円(26.7%) 地方交付税221.5億円(20.8%)
国庫支出金201.3億円(18.9%) 市債97.7億円(9.2%)
県支出金81.4%(7.7%) その他7.2億円(7.2%)

令和6年度予算主な事業

1. しごとづくり《産業振興、》《商店街活性化》4,120万円

●職人商店街の形成取組み(多彩な伝統工芸のまち)・・・1,250万円

●中学生向け小公卿体験イベントの開催・・・1,000万

●ルビー・シティ・松江プロジェクトのバージョンアップ(IT企業家とのハッカソン)……………1,235万円

●大根島牡丹の担い手確保、認知度向上……………455万円

●スマート農業の推進(機械・施設・設備)の補助……………180万

1. しごとづくり《観光振興》1億6,080万円

●松江水郷祭花火大会・地域花火実証事業の補助……………2,100万円
●松江観光プロモーション強化(水燈路、松江城イベント等)……………8,500万円
●松江観光協会の体制強化(マーケティング・マネジメント機能強化)……………1,267万円
●外国人観光客の誘客促進(インバウンド需要の拡大取組み)……………2,372万円
●2025年大阪・関西万博を契機とした観光誘客……………1,841万円

令和 6 年度予算主な事業

II. ひとづくり 《ワーク&バランス、子育て支援》41 億 9,654 万円

- デジタル To デジタルのコミュニケーションモデル構築(保育所の入所決定から決定通知までオンラインで行う)……………**3,996 万円**
- 児童手当の制度改正に伴う給付の充実……………**32 億 2,335 万円**
- 子ども医療費の拡充(0 歳児～中学生)医療費の無料化……………**9 億 3,263 万円**
- 教育・不登校児対象のオンライン学習支援……………**60 万円**

III. つながりづくり《歴史・伝統、文化・芸術》46 億 2,460 万円

- ゆるキャラ作成、●小泉八雲旧居保存活用、●台北市と文化交流事業
- フラパホールリニューアルイベント、●松江市総合体育館フロアバスケット会場用改修事業(約 42.2 億円) ●中海スポーツパーク整備事業(3 億 5,762 万円)

IV. どだいづくり 《自然・環境》44 億 8,538 万円

- 地熱活用によるエネルギー構造転換促進(玉造温泉)……………**4 億 980 万円**
- 「国際文化観光都市・松江」の脱炭素先行地域推進事業……………**8,483 万円**
- 公共施設の脱炭素化推進、●公共交通網の形成と廃止バス路線の維持、●AI デマンドバスの運行拡大、●松江駅前デザイン作成●社会資本整備等

V. なかまづくり 《中海・宍道湖・大山園都市長会連携強化》3,845 万円

殿町高層マンション建設問題・陳情に対し不採択としました！

●令和 6 年 2 月 9 日に提出された『「(仮称)殿町プロジェクトマンション棟」計画に対する景観審議会の再度開催について』の陳情を建設環境委員会(石倉徳章委員長)とまちづくり対策特別委員会(岩本雅之委員長)で、合同で審査を行ってきました。陳情のこのマンションは高層ビルで高さ 57m の 19 階建てと松江城の高さより高くなるため、著しく松江城とその周辺景観を阻害するもので、景観形成上において周辺と調和について審議が不十分であり、「景観審議会」を再度開催するよう要請する陳情でありました。

●この、マンション建設については、景観計画で定める「天守から見える東西南北の山の稜線の眺望を妨げない」とする高さの基準を満たすと景観審議会が判断していたもので、建築許可を出していた。

●この陳情に対し、審査付託を受けた建設環境委員会の意見では、執行部は高さについては勧告しているが「景観審議会」では基準を満たしていると審議されているので、再審議を行う陳情に対して、委員会採決では多数が不採択としました。また、本会議においても不採択が多数で議会審議を終えました。

●この問題で上定市長は建設主体の京阪電鉄不動産株式会社(大阪市)にお赴き、会社代表と高さを下げる交渉したが、受け入れられなかった。今後は高さ制限や建物色彩・素材の機軸に関しても明確な計画案を出す方針を示した



★県庁前に建設予定。左隣はセンチュリービル(36.5m)、右は JA しまねビル

4月22日令和 6 年第 3 回臨時議会

松江市議会・次期選挙から

議員定数を 34 人から 31 人に決定！

令和 5 年 12 月 20 日に「議員定数等調査特別委員会」を設置し、10 回に及ぶ委員会を開催し、公共的団体からの意見聴取やパブリックコメント調査を行った結果、来年 4 月実施予定の松江市議会議員選挙から 3 人減の「定数 31 人」の委員会提出議案を提出し、賛成多数で可決しました。

＜議員定数等調査特別委員＞ 立脇道也、川島光雅、三島良信、森脇勇人、津森良治、森脇幸好、田中明子、石倉茂美、たちばなふみの各議員。

物価高騰支援に 11 億 4,051 万円の補正支援

- 令和 6 年分所得税(3 万円)及び個人住民税(1 万円)所得割から減税しきれない納税義務者へ、差額を調整給付。
- 令和 6 年度新たに住民税非課税及び均等割りのみ課税となる世帯への給付。★1 世帯当たり給付:10 万円(250 世帯見込み)。当該世帯の子供加算 1 人当たり給付:5 万円。

2月 28 一般質問を行いました(その他 3 項目)

問う: シジミの資源量が大きく減少しているがその対策について伺う。

答弁: シジミの採苗放流や竹林型の漁礁整備事業などを実施支援やその他に漁獲制限ルールの上乗せ、未成貝の資源保護に努めてもらっている。また、県外での島根ふるさとフェアでの宍道湖産シジミの即売やイベントでの PR に努め、SNS 等で全国情報発信を行う支援を行っている。

問う: 最近、一極集中が再加速する中、市の周辺地域への賑わい創出に対し未来につながる投資を惜しまないでほしい

答弁: 地域の公共施設の活用や、民間活力を生かした機能強化など検討していく。子供たちや市民が愛着と誇りを育み、まちをよくしたいと希望や使命感を持つことが重要。地域公民館でのアイデアプレゼン大会など地域の課題の解決や取り組みが行われている。この成功体験や市民の前向きな姿勢や機運を共有しながらまちづくりを進めて行く。

発行元: 川島みつまさ(光雅)後援会

〒699-0408 松江市宍道町昭和 120

電話: 0852-66-3007 FAX: 66-0523

発行日: 令和 6 年 4 月 27 日(土)

市政について、
何でもお気軽に
ご意見・ご要望を
お寄せください。

《編集メモ》

初夏の季節に入り、大根島のボタンまつりが開催されているのに、衆議員補欠選挙で、すっかり注目がそちらへ移ってしまった。コロナ後の連休はお出かけ楽しんで下さい。

